

孤独・孤立から包括的な支援を考える

- 人生のあらゆる場面で、誰にでも生じえる「孤独・孤立」
- 誰かひとりが困った時にみんなが支えてくれる社会って、
自分が困った時にみんなが支えてくれる社会
- そんな社会になるよう、一緒に考えてみませんか？

▶ 日時

令和6年3月25日(月)
13時～17時頃 (受付12時半～)

▶ 場所

大阪赤十字会館 302/303会議室
(大阪府中央区大手前2-1-7)

▶ プログラム

<第一部>

基調講演 13時～
アクション報告 13時半～
(10分休憩)
意見交換 15時10分～

<第2部>

名刺交換会及び交流会
15時45分～

▶ 参加者

- ・府内市町村、市町村社協
- ・大阪府孤独・孤立対策公民連携プラットフォーム参画団体など※
- ※ 参画していなくても、関心のある方は誰でもご参加いただけるので、お知り合いにお声がけいただき、一緒にご参加ください。
- ※ただし、製品・サービスの営業等についてはご遠慮ください。

▶ 申込方法

以下のURLよりお申込み
ください



<https://lqpos.task.asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/751d36db-f96d-4277-8ecd-f3d708a3e3d1/start>

▶ 参加費

無料

基調講演

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター/大学院現代システム科学研究科
教授 野村 恭代氏

医療法人に勤務中、生活のしづらさのある人の住まいに対する「施設コンフリクト」を知る。解決策が見出せないため自身で研究をはじめ、2022年より現職。あらゆる社会問題の根源は、「分断」とそれを象徴するコンフリクトだと考え、まずはコンフリクトを根源から解消し、真の包摂社会が構築されていくことを提案している。

アクション報告1

アマタホールディングス株式会社 執行役員/ESA設立準備室チームマネージャー
アマタ株式会社 地域デザイングループマネージャー 野崎 伸一氏

元厚生労働省生活困窮者自立支援室長(兼)地域共生社会室長
「地域づくり」の実践を学ぶため、ゴミ出しや資源循環という切り口から住民主体の持続可能なまちづくりに貢献するアマタホールディングス(株)に出向。民間の立場で、公民連携による地域づくりや、公民協働・領域横断による「エコシステム社会」の構築のための連携などを全国の自治体等に提案実践している。

アクション報告2

ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会
総合プロデューサー/介護支援専門員 森 安美氏

介護保険スタート時から2014年まで、ケアマネジャーとして、認知症の人や要介護高齢者の相談支援を担当。
その後、地域福祉を学ぶため大阪府立大学に入学し、大学院修了後に認知症になっても輝けるまちをめざし、認知症の人が主役となり活躍できる場や活動を、多様な人や団体とつながりながら創出する「ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会」を立ち上げた。現在、畑やサロン、折り鶴プロジェクトなど多様な活動に取り組んでいる。

アクション報告3

枚方市子どもの育ち見守り室 子ども相談課
係長/臨床心理士 足立 倫子氏

子ども・若者支援地域協議会を再編し、「高等学校以降の子ども・若者の支援について語らう会」として、プラットフォームを設立。
ひきこもりなどの悩みに関し、これまで幅広い支援を実施してきたが、将来的なひきこもり予防にもつながるよう、より早い段階での中高生への支援についてプラットフォームで検討し、機能強化に取り組む。また、教育委員会と連携し、GIGAスクール端末でのSNS相談を開始し、多くの児童・生徒から相談が寄せられている。

事務局:大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課

協力:社会福祉法人交野市社会福祉協議会、合同会社machiplus、ケアプランセンターしん